

学科名	電気通信工学科							
科目名	計測工学							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる。(A6,B1) ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する。(A7,B2) ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる。(A7,B2) ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる。(A6,B1) ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる。(B1) 							
日程と内容	9/19 第1回 ガイダンス・単位 9/26 第2回 小テスト①・測定器の内部抵抗と正弦波 10/3 第3回 小テスト②・正弦波と矩形波の波形 10/10 第4回 小テスト③・直流、交流、実効値 10/17 第5回 小テスト④・DMM 10/24 第6回 小テスト⑤・DMM調査課題 10/31 第7回 オペアンプ 11/7 第8回 小テスト⑥・オペアンプ2 11/14 第9回 小テスト⑦・オシロスコープ 11/21 第10回 小テスト⑧・オシロスコープ調査課題 11/28 第11回 発振器 12/5 第12回 小テスト⑨・発振器 12/12 第13回 小テスト⑩・発振器調査課題・総合演習① 12/19 第14回 臨時試験 1/9 第15回 総合演習② 1/16 第16回 定期試験							
成績評価基準	定期試験	20%	実技	0%	臨時試験	10%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		0%
	演習	40%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる: 到達した ・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する: 到達したが十分ではなかった ・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる: 到達した ・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる: 到達した ・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる: 到達した 							
反省点	今年度は、例年と傾向が大きく異なった。小テストや課題提出の得点は例年より高かったが、定期試験の評点は小テスト・課題の平均よりも低かった。最後に結果が出なかったことはとても残念なことなので、来年度は定期試験に向けた学習を促す工夫をしたい。							
来年度の計画	合格率高かったこと、授業評価アンケートの評価が高かったことなどから、基本的には今年度と同様の運営をする予定である。ただしもっと実学的教育を実践するために、実験実習科目との連携を検討する。また、非定常波形についても、もっと内容を盛り込みたい。また、今年度は合格率高かったことから、再履修クラスは設けないことにする。							
授業評価アンケートに対するコメント	授業評価の総合評価は平均8.9点で良好だった。今年度は、受講生の遅刻・欠席が少なく、課題提出の遅れもすくなかった。退学者や全欠席者が多かったことから、受講者数が少なかったことも影響しているかもしれない。あとは、不足している自己学習の習慣を何とか身につけてほしい。							
履修登録者数	52名	定期試験 受験者数	45名	合格者数	38名	合格率	84%	